

白馬国際音楽会 メンバーズ 入会のご案内

白馬国際音楽会では、趣旨に賛同し会員になっていただける方を広く募り、ボランティア活動として運営しております。本趣旨にご理解とご賛同をいただきまして、ご入会賜りたくお願い申し上げます。

本会の趣旨

1. 本会は、音楽と絵画と自然を愛する人々のコミュニケーションの場を持つことを目的とし、将来的には音楽・絵画のみならず、芸術活動全般および野外活動への関わりをめざしています。
2. 本会の運営は、本会の運営委員が行い、特定の個人や企業が営利目的等のために行うものではありません。

入会の方法

入会を希望される方、またお問い合わせは、運営委員または下記事務局へ。

「白馬国際音楽会」東京事務局:

〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビル4F
(株)トリテック 気付 白馬国際音楽会
TEL 03-3595-2850 FAX 03-3595-2896

白馬事務局(リンデンバウム):

長野県北安曇郡白馬村岩岳
TEL 0261-72-4691 FAX 0261-72-3369

「白馬国際音楽会」への郵便振替口座番号

00130-3-170379

会員・会費・入会等

1. 本会の円滑な活動と運営を行うために、会員制とします。但し、非会員でも入場料で入場は出来ます。
2. 会員の方々には、年会費(1口・5,000円)をお願いし、前記趣旨に賛同される方はどなたでも会員になっていただくことが出来ます。
3. 入会・退会の手続きについては、別途会則により行います。
4. 本会の円滑な運営を行うために、個人、企業、団体の寄付を受け付けます。

白馬国際音楽祭 入場料

3日間通し ¥5,000円 ※演奏終了後に演奏家を囲んで簡単な飲食が出来る歓談の席を設ける予定にしています。
1日券(大人) ¥3,000円
1日券(18才以下) ... ¥2,000円

- ★ご来場の日取りを必ず事前にご予約下さい。
(予約なしのご入場はできない場合があります)
- ☆演奏中の入場はお控えいただくことがあります。

宿泊のご案内

白馬村観光局より白馬のホテル、ペンション等を紹介いたします。

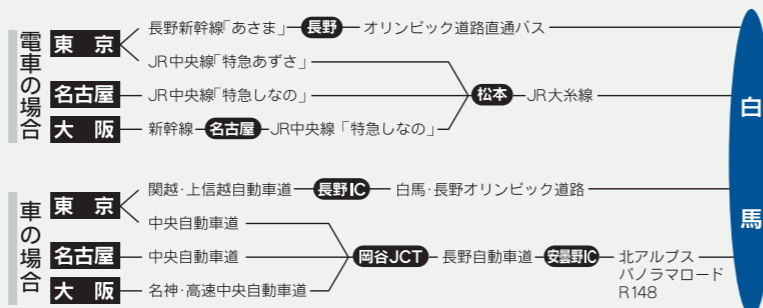
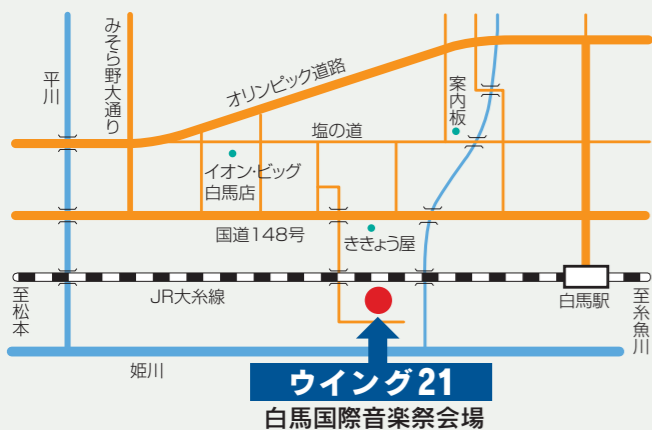
白馬村観光局

〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城7025番地
TEL 0261-72-7100(代) FAX 0261-72-6311



ウイング21

Access



第21回 白馬国際音楽祭

HAKUBA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL



- 入場料 ● 3日間通し...¥5,000円 1日券(大人)...¥3,000円 1日券(18才以下)...¥2,000円
開催日 ● 2023年7月27日(木)~7月29日(土) 開場18:00 開演19:00
会場 ● 白馬村ウイング21文化ホール 長野県北安曇郡白馬村大字北城2066 電話 0261-72-8770
主催 ● 一般社団法人 白馬国際音楽会
後援 ● 白馬村/Embassy of Papua New Guinea/Embassy of Federated States of Micronesia
Embassy of Kingdom of Tonga/Embassy of Independent State of Samoa/Embassy of the Republic of Palau
信濃毎日新聞社/国際機関太平洋諸島センター
協賛 ● 協和海運(株)/エース物産(株)/山九(株)/北野建設(株)/三井住友海上火災保険(株)/(株)トリテック/割烹以志井
二貴/エクセノヤマミズ(株)/小川総合法律事務所/白馬総合開発(株)/村上商事(株)/リンデンバウム
グリンデル/ラ・ネージュ東館/(株)新来島どっく/東海協和(株)/(株)三菱UFJ銀行/野村証券(株)
日本ビジネスライン(株)/Kyowa Korea Maritime Agency/Dongshin Maritime Agency
Matson Navigation(USA)/Mariana Steamship Agency/Saipan Shipping/日本郵船バルクプロジェクト(株)
戸田汽船(株)/Swire Shipping/アイズグラフィック/白馬シンポジウム/Dongbu Express
Shinyang Shipping Service/Donghae Marine Service/Pacific Enterprise/清丸海運(株) (順不同)

ごあいさつ

「白馬国際音楽祭」は1995年(平成7年)に開催を始めました。その間、東日本大震災、及びコロナ禍などの際には開催を控えざるを得ませんでしたがこの度、第21回として再開をする運びとなりました。ボランティアが企画し運営をする小さな音楽祭ではありますが、これまでに海外からの演奏家は延べ150名、入場者も海外からの方も含めて約1万名の方々にご参加をいただきました。これも偏に関係者の皆様にお支えいただいた賜物と厚く御礼申し上げます。演奏家も職業を異にする運営委員もボランティアとして活動を行っています。情趣豊かな夏の白馬村での音楽祭、皆様と共に続けていきたいと思っておりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人「白馬国際音楽会」代表 高松 裕満

第2日目 ●7月28日(金曜日)

パリ、ロマンチズム、印象派たち

M.ラヴェル Maurice Ravel

クープランの墓 木管5重奏版 (フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン&ファゴット)
Le tombeau de Couperin for wind quintet (flute,oboe,clarinet,horn & bassoon)

第1曲 前奏曲	I. Prelude	編曲 M.ジョーンズ
第2曲 フーガ	II. Fugue	arr. Mason Jones
第3曲 メヌエット	III. Menuet	
第4曲 リゴドン	IV. Rigaudon	

C.ドビュッシー Claude Debussy

前奏曲集 第1巻より from Préludes vol.1 (ピアノ)

第1曲 デルフィの舞姫たち	I. Danseuses de Delphes	(piano)
第2曲 ヴェール(帆)	II. Voiles	
第3曲 野を渡る風	III. Le vent dans la plaine	
第4曲 音とかおりは夕暮れの大気に漂う	IV. Les sons et les parfums tourment dans l'air du soir	
第8曲 亜麻色の髪の乙女	VII. La fille aux cheveux de lin	

前奏曲集 第2巻より from Préludes vol.2

第5曲 ヒースの茂る荒れ地	V. Bruyères
第12曲 花火	VII. Feux d'artifice

休憩

C.サン=サーンス Camille Saint-Saëns

タランテラ 作品6 (フルート、クラリネット&ピアノ)
Tarantella op.6 (flute,clarinet & piano)

Ch.グノー Charles Gounod

6つのメロディ より (ホルン&ピアノ)
from 6 melodies (horn & piano)

第3曲 アンダンテ	III. Andante
第4曲 ラルゲット	IV. Larghetto

G.フォーレ Gabriel Faure

幻想曲 ハ長調 作品79 (フルート&ピアノ)
Fantaisie C major op.79 (flute & piano)

C.ドビュッシー Claude Debussy

クラリネットのための第1狂詩曲 (クラリネット&ピアノ)
Rhapsodie No.1 for clarinet (clarinet & piano)

F.プーランク Francis Poulenc

オーボエ、ファゴット、ピアノのための三重奏曲 作品43
Trio for oboe, bassoon & piano op.43

第1楽章 プレスト	I. Prest
第2楽章 アンダンテ	II. Andante
第3楽章 ロンド	III. Rondo

第3日目 ●7月29日(土曜日)

アメリカ、新世界

L.バーンスタイン Leonard Bernstein

キャンディード 序曲 木管五重奏版 編曲 D.シュewart
(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン&ファゴット)

Overture to 'Candide' arr.Don Stewart for wind quintet
(flute, oboe, clarinet, horn & bassoon)

R.ムチンスキー Robert Muczynski

フルートソナタ 作品14 より (フルート&ピアノ)
From Sonate for flute and piano (flute & piano)

第3楽章 アンダンテ	III. Andante
第2楽章 スケルツォ	II. Scherzo

A.ドヴォルザーク Antonin Dvořák

弦楽四重奏曲 第12番 ヘ長調 作品96 「アメリカ」
木管五重奏版 編曲 D.ワルター
String Quintet no.12 in F major op.96 'American'
arr. David Walter for wind quintet

第1楽章 アレグロ・マ・ノン・トロッポ	I. Allegro ma non troppo
第2楽章 レント	II. Lento
第3楽章 モルト・ヴィヴァーチェ	III. Molto vivace
第4楽章 フィナーレ ヴィヴァーチェ・ノン・トロッポ	IV. Finale Vivace ma non troppo

休憩

H.ヴィラ=ロボス Heitor Villa-Lobos

ショーロス 第2番 (フルート&クラリネット)
Chôros No.2 (flute & clarinet)

S.バーバー Samuel Barber

夏の音楽 作品31 (フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン&ファゴット)
Summer Music op.31 (flute, oboe, clarinet, horn & bassoon)

A.タンスマン Alexandre Tansman

バレエ音楽「楽園の花園」より 魔女の踊り
(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット&ピアノ)

La danse de la sorcière from the Ballet 'Le Jardin du Paradis'
(flute, oboe, clarinet, horn, bassoon & piano)

G.ガーシュイン George Gershwin

ラプソディ・イン・ブルー ピアノ&木管五重奏版 編曲L.ポータス
Rhapsody in Blue arr. Lisa Portus for piano & wind quintet

演奏者紹介



●ピアノ



●フルート



●オーボエ



●ホルン



●ファゴット



●クラリネット



●音楽総監督

バスカル・ゴダール Pascal Godart

5歳からR.アントルモンにピアノを学び、パリ音楽院でY.ロリオに師事してピアノ、室内楽、伴奏法で1等賞を獲得。その後P.レアシュ、V.ザハロフにも師事してクラーヴランドやミラノ、東京など各地のコンクールで入賞、1996年にはアテネのマリア・カラス国際グランプリで10曲の協奏曲を弾いて優勝。欧米のみならず、アジア各地の著名なオーケストラ、指揮者と共演。近年は室内楽にも力を入れ、P.ヴェルニコフ、N.グートマンと共演。指揮者としても活動し、2010年にはマリア・カラス国際グランプリの審査員、'14年にはジュネーヴ国際ピアノコンクールの事前選考委員を務める。'10年からローザンヌ音楽大学ピアノ科の教授、'22年からはピアノ科、伴奏法科の主任に就任、学内の刷新に貢献している。白馬音楽祭には第17回から参加し好評を得、今回5回目の来日である。

ジョゼ・ダニエル・カステロン José-Daniel Castellon

M.プフにフルートを学び、16歳でリヨン音楽院に入学、M.ラリーユに師事して在学中、1983年ジュネーヴ国際音楽コンクールで1位なしの2位入賞。翌年ディプロマを得て卒業した。19歳でJ.E.ガードナー率いるリヨン国立歌劇場管弦楽団に入団、1980/90のシーズンにはE.クリヴィスに招かれリヨン国立管弦楽団の首席を務め、'90年~2004年はJ.ロベス=コボスやCh.ツァハリスらが率いるローザンヌ室内管弦楽団の首席を歴任。長年リヨン地方音楽院の教授を務め、'04年からはローザンヌ音楽大学に移りフルートと室内楽を指導、ヨーロッパだけでなくブラジル、韓国、シリア、中国など各地でマスタークラスを行い、M.ラリーユコンクール、D.チマローザコンクール、トスカニーニコンクールなど各地のフルートや指揮者コンクールの審査員として招待されている。室内楽にも力を入れ、ピエール・ド・ロンサル・トリオの設立メンバーとして活動を続け、レパートリーも古典から現代音楽まで幅広い。'19年にはローザンヌ室内管弦楽団らと録音したジョリヴェヤマルタンのフルート作品のCDがクラシカ誌の最高賞を獲得した。第15回白馬音楽祭にも出演した。

ジャン=ルイ・カベツァリ Jean-Louis Capezari

9歳からピアノを始め、14歳からはヴェルサイユ音楽院でオーボエをガストン・ロンガットに師事し首席で卒業。1979年に音楽教育国家資格を得て、ラムル管弦楽団のソ奏者に就任。'82年ジュネーヴ国際音楽コンクール入賞、'86年プラハの春国際音楽コンクール第3位。'84年にはフランス放送フィルハーモニー管弦楽団の第一奏者に就任。'92年からはパリ音楽院の教授となり、'98年からはリヨン音楽院、2008年からはローザンヌ音楽大学でも後進の指導に当たっている。プラード・カザルス音楽祭やフィンランドのナントリ音楽祭などの音楽祭に出演、トゥールーズ室内管弦楽団、台湾国家交響楽団、ジャパン・チェンバー・オーケストラなどにも招聘され、欧米のみならず韓国、日本など世界各地でマスタークラスも行っている。第20回白馬音楽祭に参加した。

ジャック・デルブランク Jacques Deleplancque

7歳からホルンを習い始め、パリ音楽院では14歳からG.バルボット、Ch.ラルデに師事してホルン、室内楽で満場一致の1等賞を獲得、その後18歳でカザドシュ指揮のリール国立管弦楽団、続いてアバド指揮のEUユース管弦楽団のソリストを務め、その後ブレーズに見出され、彼の元で12年間アンサンブル・アンテルコンタンポランのメンバーとしてメシアン、リガティ、ペリオなど20世紀の作曲家の演奏を通して楽器の限界に挑み、フランス国立管弦楽団のソリストに就任。チェリビダッケ、マゼール、小澤征爾など名だたる指揮者と共演して称賛を得、1995年からはトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団でブラッソン、ソビエトラと共演している。新パリ木管五重奏団のメンバーとして室内楽にも力を入れ、パリ音楽院、エコール・ノルマル、ローザンヌ音楽大学などで後進の指導に当たっている。オーケストラの一員としてたびたび来日、2018年には公開レッスンをを行い、今年もマスタークラスを指導する予定。

ジャン=フランソワ・デュケノワ Jean-François Duquesnoy

1969年リール生まれ。'83年からファゴットの勉強を始め、2年後パリ音楽院に入学しモリス・アラールに師事。'88年トゥーロン国際コンクールで第3位、翌年パリ音楽院コンクールで第1位、東京国際コンクールで第2位受賞。さらにジルバール・オザンのクラスで研鑽を積み、'91年にはフランクフルトの国際ダブルリードコンクール第1位、その後パリ=パステューユ・アンサンブルやパリ歌劇場管弦楽団のソ奏者として活動後、'94年フランス国立管弦楽団に移籍、同年トゥーロン国際コンクール第2位。'99年からラジオ・フランス管弦楽団の首席奏者を務め、近年、パリ音楽院で後進の指導に当たっている。

野口悠治 Yuji Noguchi

2000年に東京音楽大学音楽学部を首席で卒業。ジュネーヴでT.フリードリヒに師事、ローザンヌ音楽大学ではF.ラバンのクラスでソリストディプロマを取得。その後ベルン芸術大学でエルネスト・モリナリの下でバスクラリネット奏者としてソリストディプロマを取得し、エドゥアルド・チュミ賞を受賞。在学中からクラリネット奏者としてオペラやオーケストラで活動する一方で、現代音楽、舞台や演劇音楽に興味を持ち、'07~'12年作曲家G.アベルギス、打楽器奏者F.リヴァランによるベルンのテアトル・ミュージカルコースにアシスタントして携わる。ルツェルン音楽祭アカデミーやヴェルビエ音楽祭のオーケストラで演奏。'13年にはシマック・モダン・アンサンブルのメンバーとしてフランスのロワイモン財団のヴォワ・ヌベルに招待された。'07年ラファエル・センドのバスクラリネットとアンサンブルのための協奏曲「Action Direct」を委嘱初演。また室内楽にも情熱を傾け、18世紀から20世紀にかけてのレパートリーを持つエオルクワットトのメンバーとして長く活動後、'17年アンサンブル・カステル・カメラータを立ち上げ芸術監督として現在も意欲的に活動している。スイス在住。

川道博子リュイエ

声楽家。京都生まれ。スイス在住。美山節子、坂根豊子に師事、桐朋学園大学音楽部声学科卒業。東京二期会所属後、スイスのローザンヌ音楽院でJ.ピーズに師事してディプロマを取得。「フィガロの結婚」のスザンナ役でデビュー後、オスカル、ブリーナ等の役でスイスやフランス各地のオペラに出演。ソリストとしてイタリヤ、チェコスロヴァキアやサンクトペテルブルクにおいても幅広いレパートリーの音楽活動を続けた。E.タピ、L.サルティ、E.シュバルツコップ等にも師事し、A.ジョルダン、M.コルボー、P.マーク等の指揮下でも出演する。長年母校のローザンヌ音楽大学で教鞭をとり、エヴモード・ユヴォー(メソソプラノ)、ジェレミー・シュツツ(テノール)を始め数々の歌い手を育て、現在も若手の生徒を指導する傍ら、パリやマコン、スイス各地の音楽学校やコンクールの審査員をし音楽活動を続けている。2005年以来白馬国際音楽祭に参加、2007年より音楽総監督として意欲的なプログラムを企画している。